



2025年

9月定例会 報告

8月29日(金)～9月24日(水)の27日間

中島りゅうじ 議会活動報告

慎重に審査した結果、
上程された議案や決算承認案件等
については全て賛成しました。

多言語及び多文化共生社会の実現に向けて

多言語及び多文化共生社会の取組

〔Q.質問〕 豊田市の業務として、現在、取り組んでいる
多言語対応は？ また、今後、拡充する予定の取組は？

〔A.答弁〕 ▶ 豊田市では、「ユニバーサル市役所『とよた』ガイド
ライン」に基づき、外国人住民の国籍割合を踏まえ、必要性
の高い、ポルトガル語、ベトナム語、英語、タガログ語の4言語
を、優先して翻訳を行っている。これにより、豊田市の外国人
住民の約75%の言語に対応することが可能。

▶ 市役所の窓口、電話対応においては、各部署からの依頼に
応じて、通訳者の派遣や、遠隔通訳サービスなどを活用し、円
滑なコミュニケーション支援を行っている。

▶ 情報発信については、市ホームページにおいて、ガイドラ
インに定められた言語に加え、スペイン語、中国語、韓国語を含
む7言語と、「やさしい日本語」に対応することで、外国人住民
が必要な情報にアクセスしやすい環境を整えている。

▶ 今後は、ガイドラインに基づき、ハザードマップや乳児健康
診査問診票などについても、順次、多言語対応を進める予定。

〔Q.質問〕 多言語及び多文化共生社会の実現に向けた豊田
市の考えは？

〔A.答弁〕 ▶ 外国人集住都市として、多様な文化・価値観が共存す
る環境は、豊田市の強みであるとともに、まちづくりにおける創造
性や柔軟性の源泉であるとする。

▶ 豊田市も直面している人口減少社会において、外国人住民も同
じ豊田市民として「支援される存在」から「地域を支える存在」へと
その活躍の場を広げ、地域活動や経済・文化の分野で主体的に関わ
りを持つことが、持続可能な社会の形成に不可欠であるとする。

Здравствуй

Hello 你好

안녕하세요 Bonjour Guten Tag

Hola こんにちは

Xin chào Buongiorno

नमस्ते



▶令和7年4月の組織改編により、地域活躍部に多文化共生の所管課を移管したことで、防災、防犯、交通安全をはじめ、より「地域とのつながり」を軸とした施策推進に横断的に取り組むことができる体制が整備された。

▶このことを踏まえ、国籍・言語・文化の違いを乗り越え、互いを尊重し共に支え合うことで、地域社会のつながりを強めるとともに、国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成を通じて、多様な市民が共に創る「多文化共生都市」の実現を目指していく。

中島りゅうじの要望・意見

外国人との共生社会の実現に向けた豊田市の考えは、私も同じ想いです。市長や執行部に、ぜひ秩序のある外国人との共生社会の実現に向けて、市全体として実効性のある施策・取組を推進していただくよう要望しました。



特別支援教育推進計画策定に向けた取組

特別支援教育の現状と計画策定に向けた取組

Q.質問 特別支援教育推進計画に基づき、さらなる子ども一人一人の特性やニーズに応じた効果的な教育を推進する必要があるが、ニーズといっても多様であり計画だけでは対応できない部分がある。多様なニーズへの対応と特別支援教育の今後の方向性について、豊田市の考えは？

A.答弁 ▶特別な支援が必要な児童生徒数は増加しており、障がいや特性に応じた支援の在り方も多様化している。

▶今後は計画に従って、教員の専門性を高めるとともに、学校を中心に関係機関等と連携しながら様々な施策に取り組み、児童生徒に必要な支援が行えるように対応していく。

▶共生社会に向けた多様性の理解を育むとともに、特別な支援を必要とする児童生徒のニーズに応じる多様な学びの場を用意し、切れ目ない支援を行っていく。



中島りゅうじの要望・意見

障がいがある無しに関係なく、誰もが安心して受けられる教育システムは重要です。教育長をはじめとする教育委員会に対し、当事者や保護者、関係者の声を取り入れながら、着実に取り組んでいただくようお願いしました。



会派討論

歳入総額2466億円余・歳出総額2295億円余に関する令和6年度豊田市一般会計決算（一部抜粋）

賛成

ふるさと寄附金について

まずは、本来の趣旨と実情がずれています。市民税の控除により、個人市民税では17億8000万円余、法人市民税では11億3000万円余の減収が確認できました。そうした中、豊田市は「ふるさと寄附金制度」の適正化や制度の抜本的な見直しなどを国に要望したことを高く評価いたします。また、ラリージャパン観戦券や独自の工業製品を返礼サービスとして提供し、他市との差別化を図っている点も評価いたします。

テレビ・ラジオ等広報費のCATV放送について

要配慮者への情報アクセシビリティについて、総務省の指針では放送事業者に対し、できるだけ多くの番組に字幕を付けることが目標とされている中で、市の重要施策を伝える番組に字幕を付ける取り組みは評価いたします。今後は総務省指針に基づき、「市政情報提供番組」以外でも字幕付与などのさらなる拡充を期待します。



これらの事業を含む令和6年度豊田市一般会計決算を評価し、認定すべきと考えます。

意思疎通支援費について

我が会派は、手話通訳者や要約筆記者の報酬について、派遣予約がキャンセルになるとその時間を空けて待機したにも関わらず、収入がなくなるという仕組みを改善する必要があると考えています。また、報酬の引き上げなどの検討を行うべきであると考えます。こうした改善点はあるものの、手話奉仕員の養成講座や手話・点字の体験実施などの取組は、大いに評価いたします。



いじめ・不登校対策事業について

令和6年度の子どもの権利相談室での相談内容の15.6%がいじめに関するものでした。令和6年度、いじめによって不登校になった児童の保護者が学校に訴えたところ、学校側が「いじめとは捉えていない」と回答したことを問題視しています。一方で、いじめの認知件数は令和5年度の1973件から令和6年度には1454件に減少しており、様々な取り組みの効果と理解し、評価いたします。



2025年12月定例会報告

11月28日(金)～12月18日(木)の21日間

議案質疑

市長や議員等のボーナスの引き上げに関する2議案について
(所属の企画総務委員会における主な質疑と答弁)

慎重に審査した結果、上程された議案のうち、市長や議員等のボーナスの引き上げに関する2議案、地域手当の引き下げが含まれていない豊田市職員給与の改正に関する議案及びそれらに関連する職員人件費を含む特別会計補正予算7議案については反対、その他の議案については賛成、豊田市下水道事業の受益者負担金事務に関し、豊田市議会に調査を求める請願については同意しました。

質問

市内事業者、市民の景況感をどのように把握、認識され、本改正案、条例へ上程となったのか、また、据え置く考えは？

答弁 ▶市内事業者や市民の景況感の把握は行っていないが、全国的な民間賃金等の動向を把握している人事院勧告に準拠するとともに、一般職、特別職、他の地方公共団体及び国の特別職との均衡を考慮して引き上げが必要と判断した。

質問

報酬審議会において議員の期末手当支給割合を対象としている自治体の状況は？

答弁 ▶ほとんどの自治体は議員の期末手当支給割合を審議対象としていないが、対象としている一部自治体に確認したところ、一般職又は国会議員に準じて改定をしているとのこと。



質問

報酬審議会における議員及び特別職職員の期末手当に関する審議については、平成30年度開催時に審議の対象外である旨の意見をいただいたため審議を行わない考えをもって承知している。そもそも報酬審議会以外に議員の期末手当を引き上げるにあたって市民の意見を反映させる仕組みをつくる考えは？

答弁 ▶期末手当の支給割合を検討する材料として、人事院勧告以上に客観的な根拠を収集することは困難であるため、その他の仕組みをつくる考えはない。

会派討論

反対

市長や議員等の
ボーナスの引き上げ (一部抜粋)

私たちは、議員、特別職等の報酬、給与等の引き上げについて、一律に反対ということではありません。

現時点で最新である豊田景気実感調査においても「豊田の景況感、全国比で弱く足踏み状態が継続中」という評価です。

豊田市で景況感は高まっていないなか、議員の期末手当の引き上げ、および市長をはじめとする特別職議員の期末手当の引き上げは、市民理解が得られないと判断し、反対します。

地域手当の引き下げが含まれてない
豊田市職員給与の改正 (一部抜粋)

反対

強調しておきたいことは、豊田市職員の給与水準を下げるべきという考えではありません。

今回の改正は、令和7年度の人事院勧告に基づくものですが、令和6年度の人事院勧告において、現行16%の地域手当を12%への引き下げが勧告されているにもかかわらず、今回も反映されていないことに問題があります。

▶ 引き上げには従うが、引き下げには従わない姿勢であること

▶ 基礎自治体職員に地域手当を支給する必要性への疑問

▶ 市民理解が得られるか疑問であること

などが反対理由です。

今回、質疑において、地域手当を廃止し、その分を基本給に組み込むことに違法性はなく、自治体独自の判断で可能であると確認できました。不適切な地域手当を廃止した上で、その分を基本給に組み込むことを検討すべきと考えます。引き上げには従うが、引き下げには従わない、地域手当の改正を含まない本議案には反対します。



※議案等の内容は正式な名称ではなく、分かりやすく表現しています。

9月・12月定例会における
主な議案等に対する各会派の賛否状況

議案等の内容		会派等名					議決 結果
		新しい風 中島議員	共産党	公明党	市民フォ	自民ク	
令和7年 9月	おでかけパス70の実質無料化や世界ラリー選手権ラリージャパンなどに関する豊田市一般会計補正予算	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	可決
令和7年 9月	豊田市駅西口周辺整備工事に関する工事請負契約の変更	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	可決
令和7年 9月	歳入総額2466億円余・歳出総額2295億円余に関する令和6年度豊田市一般会計決算	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	可決
令和7年 12月	市長や議員等のボーナスの引き上げ	反対	反対	賛成	賛成	賛成	可決
令和7年 12月	地域手当の引き下げが含まれてない豊田市職員給与の改正	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	可決
令和7年 12月	豊田市下水道事業の受益者負担金事務に関し、豊田市議会に調査を求める請願	同意	同意	不同意	不同意	不同意	不採択

新しい風 新しい風とよた

共産党 日本共産党豊田市議団(諸派)

公明党 公明党豊田市議団

市民フォ 豊田市議会市民フォーラム

自民ク 豊田市議会自民クラブ議員団

※各会派の正式名称

中島りゅうじ 後援会事務所 〒473-0924 豊田市花園町小泉82番地1

TEL 050-3605-1360
(電話リレーサービスを通して電話できます)

FAX 0565-53-1499

E-mail nakajimaryuji@outlook.com

LINE ID @yxy4744d



<https://nakajima-ryuji.com/>

プロフィール

- ・1988年7月7日 豊田市生まれ
- ・生まれつき耳が聞こえない
- ・愛知県立岡崎高等学校
乳幼児相談～高等部まで約16年間に在籍
- ・愛知淑徳大学文学部教育学科卒業

- ・株式会社デンソー入社
- ・心が聴こえる市政の実現をめざし退社
- ・2019年～ 豊田市議会議員選挙当選
- ・2023年～ 豊田市議会議員選挙トップ当選

【資格】

- ・小学校教諭1種免許状
- ・特別支援学校教諭1種免許状
- ・有機溶剤作業主任者
- ・技能講習修了証
- ・QC検定3級

【家族】

妻、娘、息子

【趣味】

旅行、映画鑑賞

Profile

